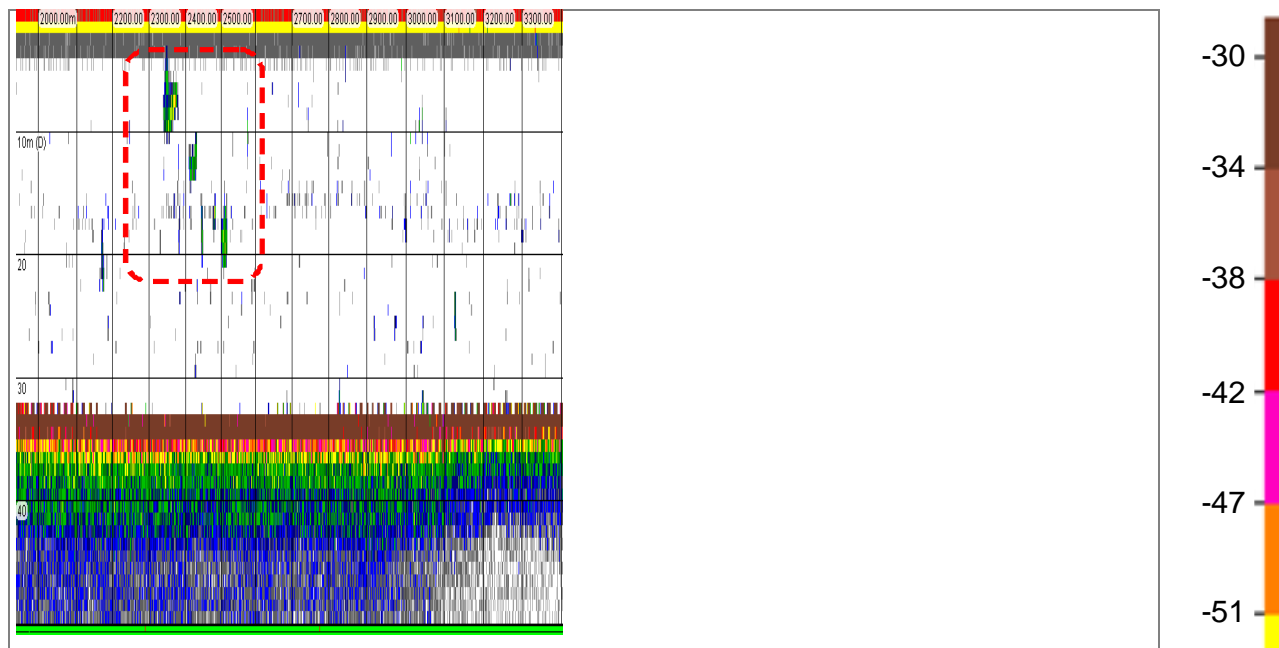


反応構成生物： オキアミ類 (*Euphausia pacifica*)

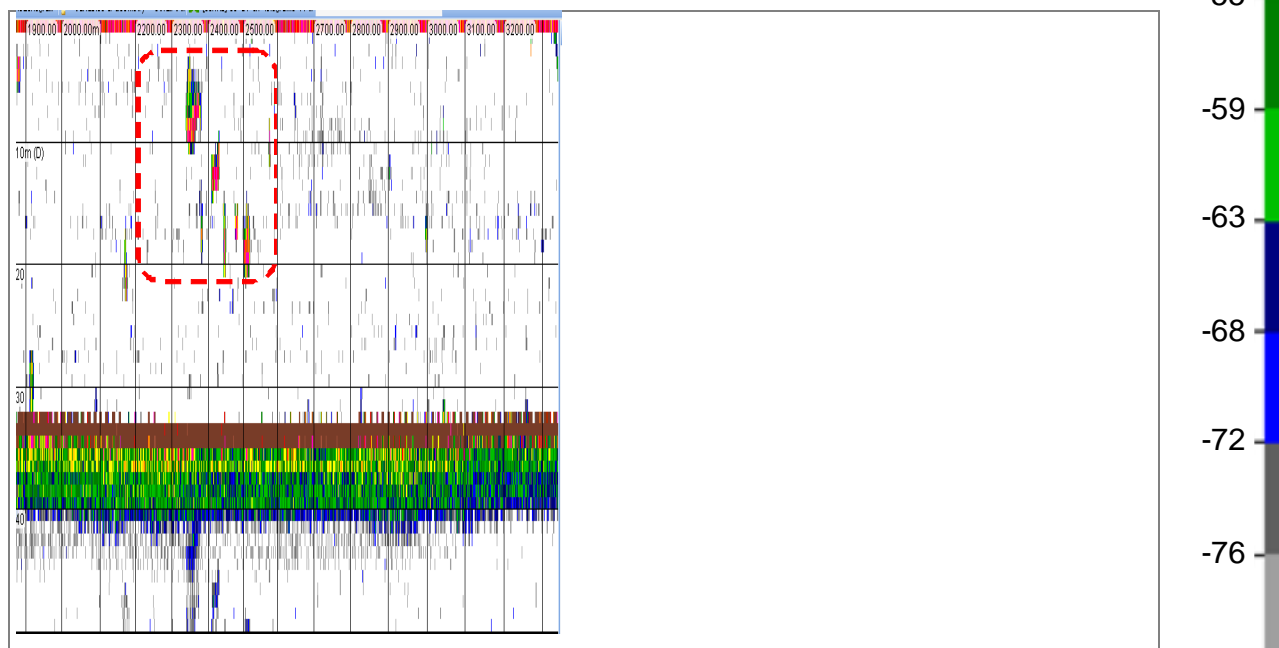
収録日時：2003年4月14日 (昼間 8:30 頃)

収録海域：太平洋, 仙台湾

収録機種・周波数：EK60・38 kHz / 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 120 kHz

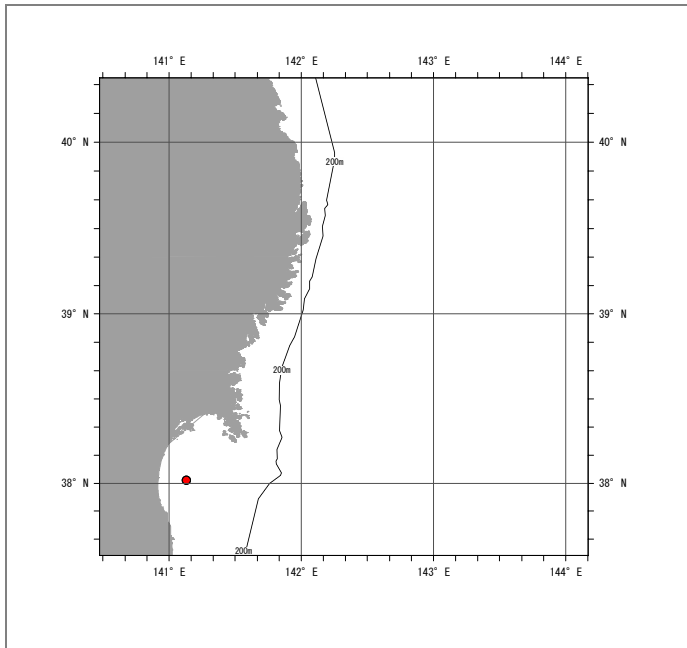
表示スケール： 縦 50 m / 横 1400 m

グリッド間隔： 縦 10 m / 横 100 m

表示色・表示  $S_v$  範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：日本鯨類研究所 (村瀬弘人), 遠洋水産研究所 外洋資源部 (渡邊 光), 第七開洋丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



*Euphausia pacifica*

写真提供：井口直樹（日本海区水産研究所）

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

IKMT ネット（網口 3.7 m×3.1 m, コッドエンドのモジ網 1.9 mm 径）により、ツノナシオキアミ（*Euphausia pacifica*）のみが確認されたこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： ツノナシオキアミの数（N），重量（g）は以下の通り。

<i>Euphausia pacifica</i>	
N	7624
g	346

*Euphausia pacifica* の平均体長： 17.9±1.3 (mm)

$S_v$  の平均周波数差（MVBS,  $S_{v120kHz}$ - $S_{v38kHz}$  の平均）： 15.3±4.5 dB

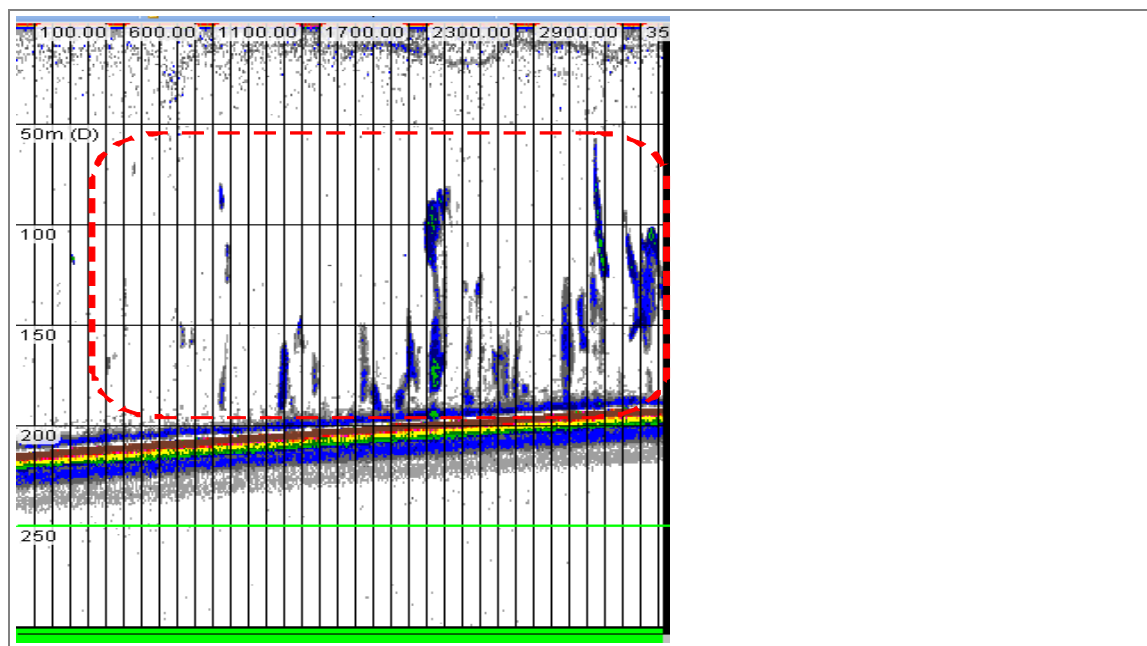
曳網深度： 10 m

反応構成生物： オキアミ類 (*Euphausia pacifica* 主体)

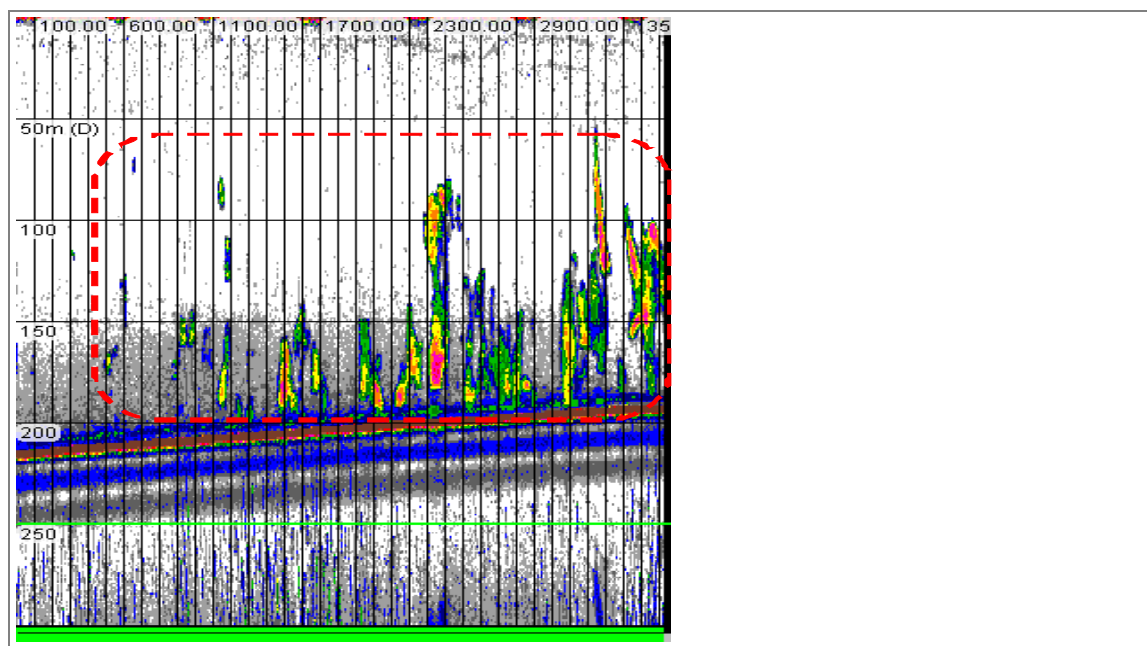
収録日時：2003年4月17日 (昼間12:00頃)

収録海域：太平洋，三陸沿岸

収録機種・周波数：EK60・38 kHz / 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 120 kHz

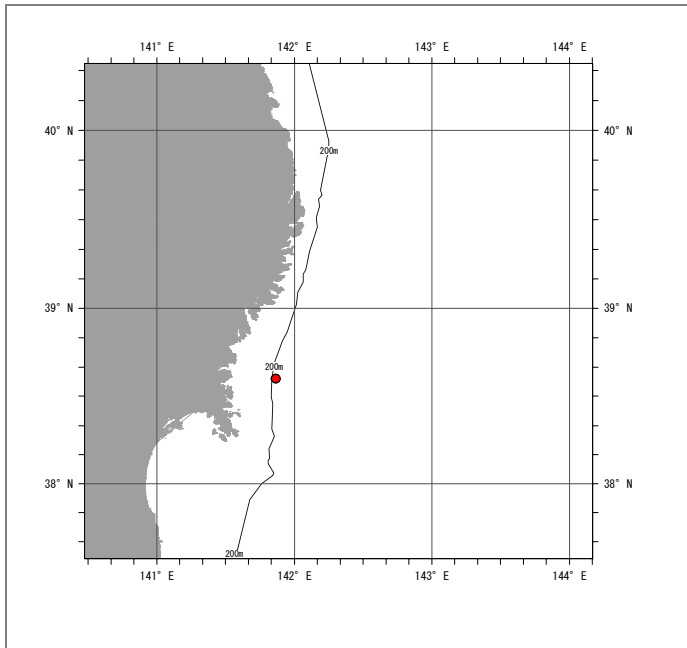
表示スケール： 縦 300 m / 横 3600 m

グリッド間隔： 縦 50 m / 横 100 m

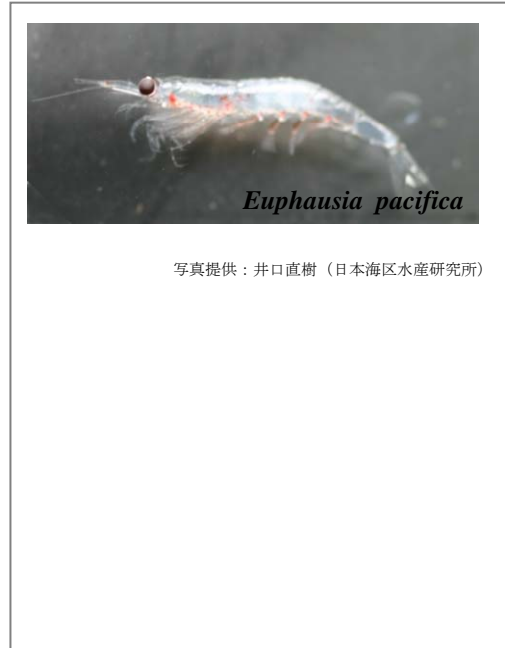
表示色・表示  $S_v$  範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：日本鯨類研究所 (村瀬弘人)，遠洋水産研究所 外洋資源部 (渡邊 光)，第七開洋丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

IKMT ネット（網口 3.7 m×3.1 m, コッドエンドのモジ網 1.9 mm 径）により、ツノナシオキアミ (*Euphausia pacifica*) が優占して確認されたこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： 動物プランクトンの数 (N), 重量 (g) の組成, 各種の全体に占める割合 (%) は以下の通り。

	<i>Neocalanus cristatus</i>	<i>Neocalanus flemingeri</i>	<i>Eucalanus bungi</i>	<i>Euphausia pacifica</i>	Others
N (%)	1030 (6.3)	1857 (11.4)	1248 (7.6)	11941 (73.1)	250 (1.5)
g (%)	17 (3.0)	8 (1.3)	10 (1.7)	536 (93.7)	1 (0.1)

*Euphausia pacifica* の平均体長： 18.0±1.2 (mm)

$S_v$  の平均周波数差 (MVBS,  $S_{v120kHz} - S_{v38kHz}$  の平均)： 14.3±3.0 dB

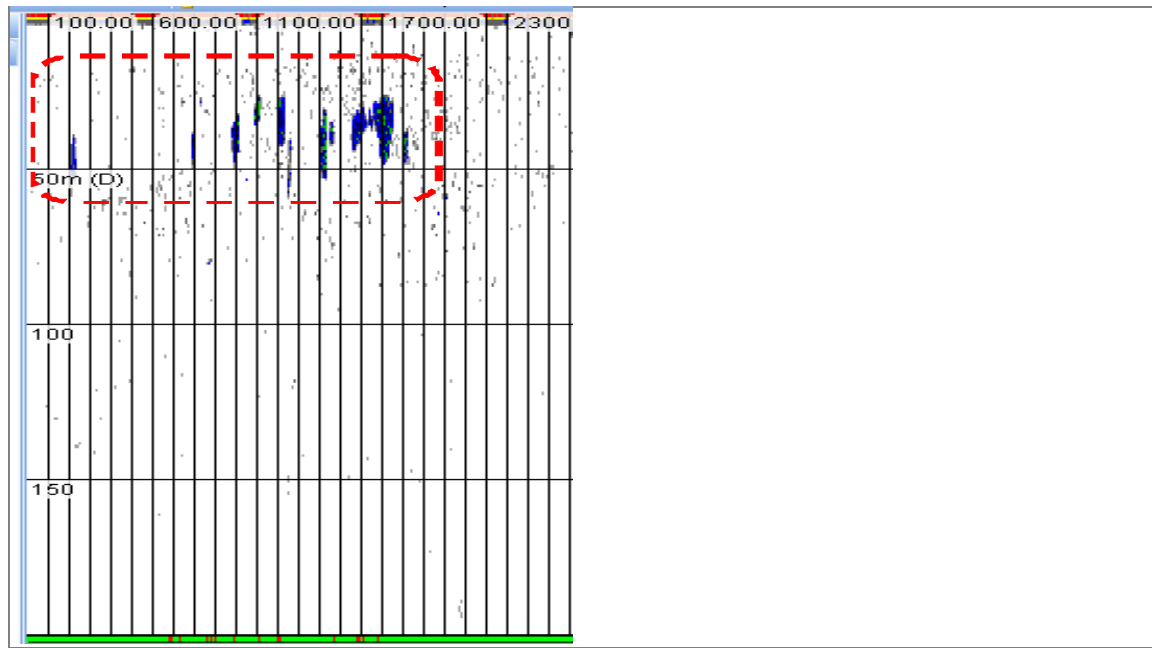
曳網深度： 100~200 m

反応構成生物： オキアミ類 (*Euphausia pacifica* 主体)

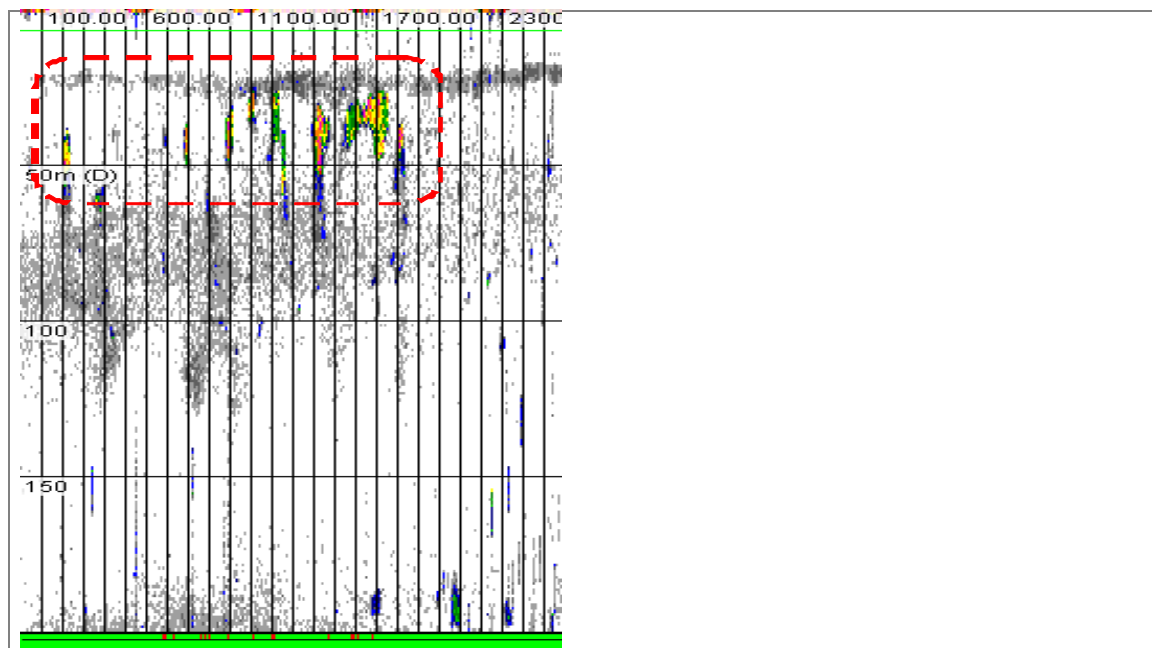
収録日時：2003年4月22日 (昼間 12:30 頃)

収録海域：太平洋，三陸沿岸

収録機種・周波数：EK60・38 kHz / 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 120 kHz

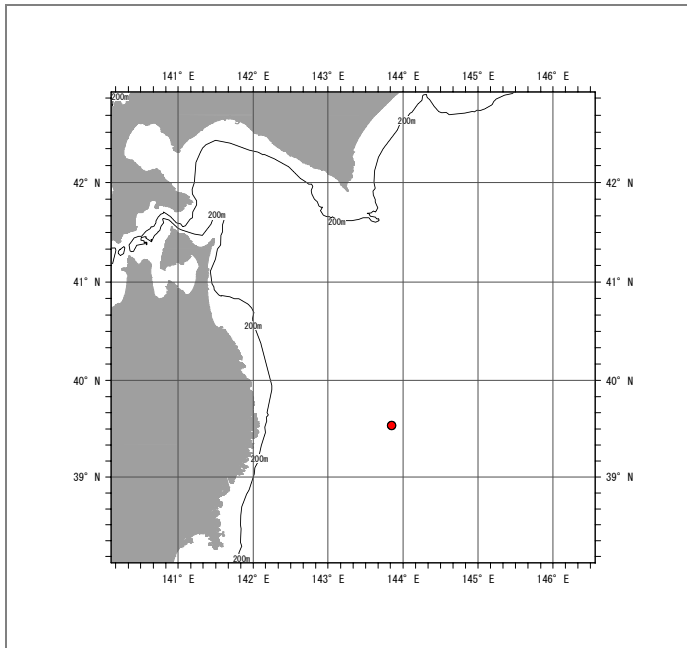
表示スケール： 縦 200 m / 横 2600 m

グリッド間隔： 縦 50 m / 横 100 m

表示色・表示  $S_v$  範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：日本鯨類研究所 (村瀬弘人)，遠洋水産研究所 外洋資源部 (渡邊 光)，第七開洋丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



写真提供：井口直樹（日本海区水産研究所）

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

IKMT ネット（網口 3.7 m×3.1 m, コッドエンドのモジ網 1.9 mm 径）により、ツノナシオキアミ (*Euphausia pacifica*) が優占して確認されたこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： 動物プランクトンの数 (N), 重量 (g) の組成, 各種の全体に占める割合 (%) は以下の通り。

	<i>Neocalanus cristatus</i>	<i>Eucalanus bungii</i>	<i>Euphausia pacifica</i>	Others
N (%)	240 (2.6)	36 (0.4)	8994 (96.6)	38 (0.4)
g (%)	5 (0.9)	+* (0.1)	484 (98.6)	2 (0.4)

\*重量が1g以下だった場合

*Euphausia pacifica* の平均体長： 19.1±1.3 (mm)

S<sub>v</sub> の平均周波数差 (MVBS, S<sub>v120kHz</sub>-S<sub>v38kHz</sub> の平均)： 14.4±5.1 dB

曳網深度： 50 m